

2017年

県立海南高等学校  
教育相談室

# スクールカウンセラー便り 12月号

## みんなの今年の漢字は？

今年も余すところあとわずかとなりました。月並みですが、月日の経つのは本当に早いですね。年を取ると、さらにそのスピードが加速しているように思えるのですが、おそらく、これまで生きてきた年月によって、同じ1年が、例えば、高校生にとっては1/17でも、私にとっては1/60の長さには感じられないからかもしれません。

さて、みなさんにとって、2017年はどんな年でしたか？

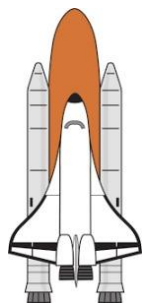
今年の世相を表す漢字は「北」になりましたが、ちなみに、私の今年の漢字は「還」です。もちろん還暦の還ですが、定年退職が終わりではなく、新たなスクールカウンセラーとしての第一歩を踏み出したこと、そのリスタートの場所が、私の教師生活のスタートとなった海南高校であったという縁から、「もとへ戻る」「再び・継続」の意味を持つ、この字になりました。

みなさんの今年の漢字は何でしょうか？ 自分のことを振り返って言葉で表現してみることは、自分のこころの整理につながります。家族や友人、先生方に話せると、なおいいですね。カウンセリングは、そんなこころや気持ちの整理をお手伝いする場所です。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

Have a Merry Christmas and a Happy New Year!



## 映画「ドリーム」面白かった！



待ちに待った「ドリーム」が、期間限定（12月9日～22日）で和歌山に来たので初日に見てきました。

この映画は、アメリカの宇宙計画が、黒人女性によって支えられていたという実話を基にした映画です。その当時（1961年頃）のアメリカは、特に南部を中心に、白人と黒人を引き離す人種隔離政策がとられていて、映画の舞台であるバージニア州でも、バスやトイレ、図書館までも分けられていて、「黒人が能力や教養を身につけることを認めない」といった差別や偏見が、映画のあちこちに見られました。

しかし、決して「差別はいけない」と言った押しつけがましいものではなく、NASAに勤める主人公の3人の黒人女性がとにかく明るくお茶目で、彼女らの秀でた才能を認めさせることによって、差別に打ち克っていく爽やかさと清々しさがスクリーンにあふれていました。なかでも、数学の天才キャサリンが解析幾何学の実力を買われて、NASAの中核の一役を担っていく姿は、将来、理系の道に進もうとしているみんなの後押しとなり、また、今まさに数学の勉強に苦しんでいるみんなにとっては、「数学って本当は楽しいものなのだ」と思わせてくれるきっかけにもなる映画だと思いました。

みんなに、まさしく“夢”を与えてくれる映画だと思います。機会があれば是非見てくださいね。

## 教育相談室に話しに来ませんか？

話したいこと、相談したいことがあれば、気軽に2階の教育相談室に来てください。

当面のカウンセリング日は

1月16日（火）23日（火）30日（火）の12時30分から16時30分です